



五輪入賞の田中選手が特別授業

東京2020オリンピックの陸上女子1500メートルで8位入賞した西脇工業高校出身の田中希実選手が、楠丘小学校の児童と交流しました。これはスポーツ庁のオリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業の一環。講演で「好きなことを大事にする気持ちを持ってほしい」と呼び掛けた田中選手は「速く走るにはペースを落とさず、楽しく走ること」と語り、児童らとともにグラウンドを走りました。[11月16日/楠丘小学校]



西脇の魅力、旅して体感

関係人口の創出を目的としたモニターツアーが催され、首都圏に住む計16人が本市を訪れました。ひょうご観光本部がtamaki niimeや県立繊維工業技術センター、ANAあきんど、西脇市などの協力を得て、産業と観光を組み合わせた新しいツアーの実証モデルとして開催。播州織の製品づくり体験や黒田庄和牛の料理が用意されており、参加した親子連れや大学生らは3日間滞在し、本市の魅力を感じました。[11月12～14日ほか/市内]



ベルとチャイムの音色響くー全国初のコンテスト

ミュージックベル・トーンチャイム全国コンテストで、16組が日頃の練習の成果を披露しました。ミュージックベルとトーンチャイムを交えて行う全国初のコンテストは、市民交流施設の開館を記念し、ベル演奏グループ・ティンカーベルの協力を得て、市と市教育委員会が開催。小学生・中学生の部と一般の部があり、各組がポップスや歌謡、ジャズなど得意の楽曲を披露。息の合った癒やしの音を奏でると、会場から大きな拍手が送られました。

受賞者は▶小中学生の部金賞＝中町南小学校ベル&チャイムズ▶銀賞＝リトルフラワーベル▶一般の部金賞＝ichica▶銀賞＝小谷葵▶銅賞＝栗東音楽振興会 (RISS)「ピアチェレ」▶教育長賞＝きたすま Tone Drops (敬称略)。[10月24日、市民交流施設]



片山市長3期目初登庁

片山象三市長が3期目の初登庁を行い、職員に拍手で迎えられました。「皆さんの支えで、2期務めてこられた。これからも力をひとつにして、西脇市だけでなく北播磨地域を良くしていこう」と訓示しました。[11月15日/市役所]



伝統芸能が一堂に

市文化連盟主催の芸能まつりで、6団体が和楽器や舞踊、バレエなどを披露。昭和33年から続く秋の恒例行事で、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止したことから2年ぶりの開催となりました。[11月3日/市民交流施設]



子どもの笑顔ずらり

子どもの笑顔を撮影した写真展を開催。来館者に温かい気持ちになってもらおうと、市が企画し写真を募集したもので、満面の笑顔を見せる子どもたちの写真17点が並びました。[11月1日～30日/茜が丘複合施設みらいえ]



ワクチン集団接種の従事者に謝意

新型コロナウイルスワクチンの集団接種を終え、接種に携わった西脇市多可郡医師会と西脇市多可郡薬剤師会へ片山市長が感謝状を贈りました。5月17日に始めた集団接種で、両団体の延べ2,225人が問診や接種、希釈作業に従事。市とともにワクチン接種に取り組み、市民の安全安心の確保に尽力されました。[10月30日/旧市民会館]



東日本大震災の語り部から学ぶ

東日本大震災で被災された宮城県南三陸町の芳賀タエ子さんの講演会が開かれ、津万地区の住民らが災害時の対応を学びました。消防庁の「災害伝承10年プロジェクト事業」の一環で、体験を語った芳賀さんは「災害時は女性の視点が乏しくなる。女性は気付いたことを声に出してほしい」と呼び掛けました。[11月13日/大野隣保館]